

ニイガタブックライト vol.11
いまいち
「一箱古本市in現代市」
店主マニュアル

この度はニイガタブックライト「一箱古本市in現代市2016」にお申込みいただき、ありがとうございました。お申込を確認させていただいた店主様に送付しております。

ルールを守り、当日皆さんで楽しんでいただけるよう、こちらの「店主マニュアル」をよく読んでからご準備・ご参加ください。
よろしくお願ひ致します。



ニイガタブックライト

事務局(直接のお問合せ)

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店
お電話でのお問合せ:090-3753-9545(亀貝太治)/025-201-7466(北書店・佐藤雄一)

メールでのお問合せ:kamegai@niigatabooklight.com

→公式WEBサイト(「ニイガタブックライト」で検索)の「お問合せ」より

準備編

【以下の持ち物を準備お願いします】

- 古本(スリップ(後述)の抜けがないか確認してください) 予備スリップ
- 販売に必要なイス・テーブルなど(事務局ではお貸しできません) 出店料¥1,000
- 本を入れる箱(両手で持てるまでの大きさ) 店名の看板・POP類・飾り
- 大きめのビニール袋など(急な雨の際、箱の上から掛けます。半透明より透明がベストです。)
- 食事やトイレ休憩時、一時的に本に掛けておく「布」や「休憩中の紙」など
- 現金を入れるケース(身に付けられるものにして下さい)
- 釣銭(必須です!釣銭両替の用意は事務局にはありません。自己責任でお願いします(後述))
- 日よけの準備(会場は日差しが強いです。パラソル・日傘の準備があると安心です)
- その他販売する雑貨など(価格が分かるように・飲食物・動植物は販売禁止です)
- 店主マニュアル 私物を置く為の敷物 筆記用具 電卓



a) 本の冊数・出店料について

一度に販売できる冊数は、販売する「1箱」に収まる数量までとします。また、この中に収まる限り、本以外の雑貨を販売してもOKです(ただし飲食物・動植物は禁止です)。

補充分は持ってきてもOKですが、自分のスペース内で背面に置くようにして下さい。

(お1人様のスペースは 左右約0.9m×奥行2mです。)

出店料は、上記1スペースを1店とし、1店あたり¥1,000をいただきます。

b) 箱について

「箱」は、ダンボール箱、木箱、トランク、カートなど、両手で持てるサイズまでなら、何でもけっこうです。本棚や什器を足して、高さを高くしても構いません(危険のない程度に)。箱から飛び出る看板や手書きPOP、ペイントしたり小物で飾るなど、見た目に趣向を凝らす工夫は自由にやってください。畳める箱は持ち運びに便利です。ディスプレイのアイデアは、WEBサイト掲載写真なども参考になるかもしれません。独自のしおりやおまけ等を付けるのも楽しいです。**箱を載せるテーブルや、座るイスなどはすべて各自で準備ください。事務局側では用意がありません。**

近年この「一箱」ルールを守っていない店主様が多く見受けられます。事務局側で注意することはありませんが、「一箱に制限すること」には理由があり、一箱だからこそその楽しさや可能性に魅力を感じて始められたイベントです。どうぞ主旨をご理解の上、準備していただけますよう、お願いいたします。

参考までにこちらも。クリック→<http://niigatabooklight.com/?p=2296>

c) スリップについて

【スリップとは?】

販売する本には、書名・売価を書いた「スリップ」を挟み込んでいただくと便利です。「スリップ」とは、新刊書店の本に挟まっている書名や値段を書いた紙、二つ折りでページに挟み込まれている、アレです。面倒であれば二折でなくとも、しおりのようなものでも、ポストイットに価格を記すだけでも構いません。



d) 値付について

値付は店主が自由に行ってください。集計の関係上、最低10円単位としますが、釣り銭対応が煩雑になるのを避けたければ**100円単位の値付をオススメ**します。

e) 釣り銭について

当日のお会計は、すべて参加店主様で管理してください。十分な釣り銭のご用意をお願いします。申し訳ございませんが、**事務局での両替はいたしておりません**。

釣り銭の目安(あくまで一般的な目安です) 合計 ¥25300

1000円札:20枚程度 500円玉:4枚程度

100円玉:30枚程度 10円玉:30枚程度

値付の際に、10円単位を無くし最低でも100円単位にすると、釣り銭の対応が格段に楽になります。オススメです。

f) 荷物の事前送付について

県外から参加の方に限り、古本の入った箱を、北書店に送っていただくことができます(送料はご負担ください)。**事前に北書店へお電話の上**、以下の宛先まで**6/11(土)午後以降着指定便**にてお送りください。

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 **ダイアパレス医学町101**
北書店
「一箱古本市取り置き」係 6/11(土)午後以降着指定
TEL:025-201-7466

当日編

いよいよ当日です。朝9時に現場に集合をお願いします。

雨天の場合も基本決行しますが、参加は皆様それぞれのご判断におまかせします。

【タイムテーブル】

出店場所は事前に事務局側で決めさせていただきます。
公式サイトに掲示する他、当日も配置図を用意しています。

- 9:00～ 搬入開始:決められた出店場所で荷卸し(荷物仮置き場はありません)。
箱の設置、販売開始準備。
ただし、9:30までは歩道の中で準備してください。道路は未だ車が通行します。
- 9:30～45 **スタッフの合図があったら、道路まで荷物を広げてOK**です。
- 10:00 販売開始。時間を見て係が廻り、**出店料¥1,000徴収**・アンケートや
ネームプレートの配布に伺います。
- 14:45 各自売場にもどる
- 15:00 販売終了(売上集計用紙・アンケート回収/菅原神社脇「笹川歯科」さん駐車場近辺にて)
箱の片付け後、いったん解散
- 17:00 打上げイベント(新潟市役所前・北書店にて・会場より徒歩20分)
各賞表彰、ゲストの南陀楼綾繁さんや山下賢二さんにお話を伺います。
その後19時頃より会費¥2,000にて懇親会を開催します。奮ってご参加ください。
(山下さんはその日の便でお帰りのため、懇親会には出席されません)

a) 雨天の場合

現代市同様に**雨天決行ですが、参加や撤収はそれぞれの店主様のご判断におまかせします。**

※事務局側では、テントなどの雨除けをご用意できません。

当日朝に参加費をお支払いいただいた後は返却できませんので、予めご了承ください。

b) 集合について(9:00)

学校町通・新潟市側や菅原神社で店舗配置図を配ります(事前にもWEBで発表します)。受付はないので最初からご自分の場所に荷を下ろし(道路にチョークで描いてあります)、準備を始めてください。追って係の者が伺い、参加料の徴収と、首から下げるネームプレート、売上集計用紙、アンケート用紙をお渡しいたします。**事務局は菅原神社そば「笹川歯科」様の駐車場**に設置している予定です。何かあればそちらまでお越しいただくか、亀貝(090-3753-9545)までお電話ください。



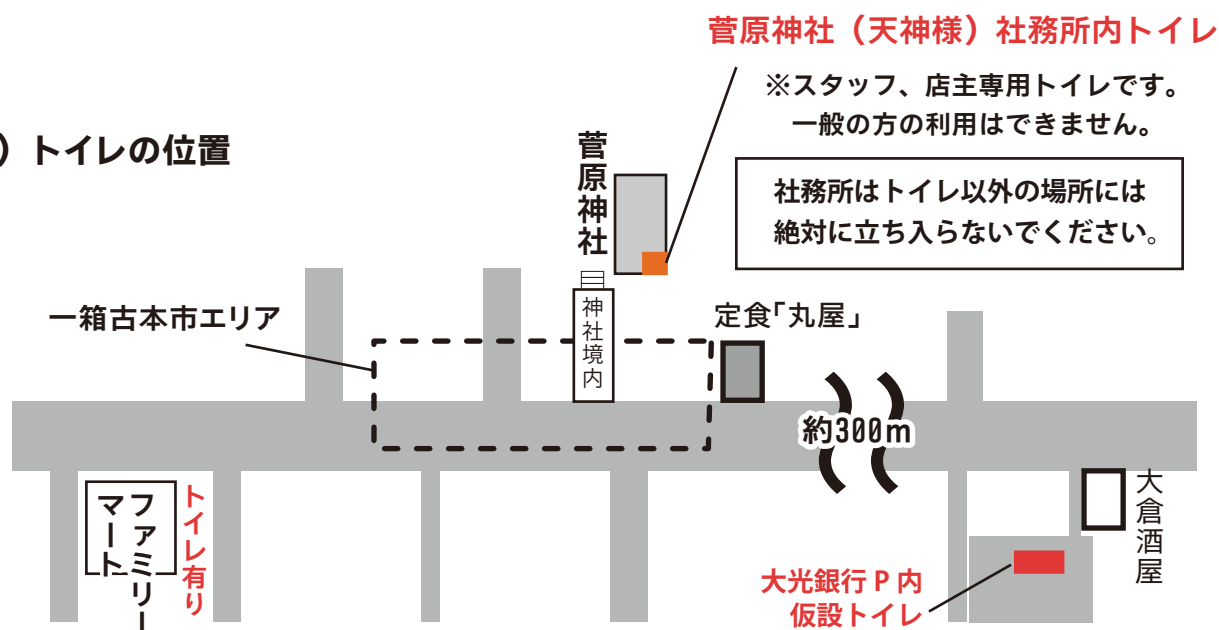
c) 通行止めと搬入に関して (9:00~10:00)

- お車で搬入の場合は、車での横付けではなく、できる限り、ご利用の駐車場から徒歩で搬入いただくようお願いします。今後は徐々にお車での横付け搬入を禁止する方針です。スタッフの作業軽減と、荷物を軽減し本来の「一箱」古本市の原点に戻るためでもあります。イベントの維持継続のために、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
- 9:00から学校町通りの入口がまず閉鎖されます。9:30頃から他の流入路の閉鎖が進み、およそ9:45過ぎにはすべて閉鎖されて進入も退出もできなくなります。

d) 店番について(10:00~15:00)

- 例年、気温が高い日が多いです。日射病を防ぐためにも十分に水分補給をしてください。
- お持ちの布などを箱にかぶせ「休憩中(〇〇時に帰ります)」など掲示することでお食事や休憩に出掛けやすくなります。
- 売上げやスリップの管理は暇を見つけてこまめに記入することをお勧めします。売上げの集計は意外と手間がかかります。販売終了時にはすみやかに「売上集計用紙&アンケート用紙」の記入、提出ができるよう、お願い致します。
- 昼食は各店主様のご自由な時間にどうぞ。むすびや百さんがおむすびとお総菜のセットを販売されます。一箱古本市エリアの現代市側の端、定食屋「丸屋」さんも開店している筈です。現代市でも食事販売のブースがあります。近くにコンビニもあります。

e) トイレの位置



f) 撤収について(15:00～)・事務局は神社そばの「笹川歯科」様駐車場です。

(時間前に売る物がなくなったら閉店も可能です。売上集計用紙とアンケートを事務局に提出ください)。

14:45になったら、各自の売場に戻ってください。

15:00になったら一斉に販売を終了します。**売上集計用紙とアンケート用紙に必要事項を記入、事務局に提出して下さい。**ネームカードを返却し、箱と本を片付け、周囲のゴミを拾ってお持ち帰りください。打上げイベントまでいったん解散となります。

g) 打上について(17:00～)

北書店にて、17:00より打上げイベントがあります。内容は、ユニークな店主やよく売れた店主の表彰、南陀楼綾繁(なんだろろう・あやしげ)さん、山下賢二さん、そして店主の皆さんを交えたトーク、その後懇親会を予定しています。懇親会に参加される場合、飲食代¥2,000(予定)を頂戴します。

なんだろろうあやしげ

南陀楼綾繁さん(編集者・ライター):東京の谷根千(谷中・根津・千駄木)で2005年にはじまった「不忍ブックストリートの一箱古本市」の発起人。その経緯や、全国のブックイベントへと広がっていった様子をまとめた新書『一箱古本市の歩き方』などの著者。ニイガタブックライト発足のきっかけにもなった新潟への旅も掲載されている『ほんほん 本の旅あるき』(産業編集センター)も発売中!

山下賢二さん(京都「ホホホ座」店主):21歳のころ、友達と写真雑誌『ハイキーン』を創刊。その後、出版社の雑誌部勤務、本屋店長、新刊書店勤務などを経て、2004年に「ガケ書房」をオープン。目立つ外観と独特の品ぞろえ、店内音楽ライブなどで全国のファンに愛された。2015年4月1日、「ガケ書房」を移転・改名し「ホホホ座」をオープン。著書『わたしがカフェをはじめた日。』(小学館)、最新刊『ガケ書房の頃』(夏葉社)は北書店佐藤店長も絶賛の面白さ。6/11(土)夜には北書店でトークイベント有(申込は北書店まで)

h) 注意事項

- 会場を提供していただいている「現代市」のスタッフの皆様や、軒先路をお借りする商店街の皆様には、感謝の意をもって接してください。**両替やトイレなどで迷惑をかけないよう**お願いします。
- 荷物を置けるスペースは、お一人様左右0.9m×奥行2mしかありませんので、販売物以外の手荷物はスペース内に納まるようにお願いします。
- ゴミは各自で持ち帰ってください。

この度はご出店のほど、本当にありがとうございました。

学校町で6回目となる一箱古本市が、素敵な一日になることを願っています。

今後とも、ニイガタブックライトをよろしく願いいたします。



現地地図・交通のご案内



【お車のご案内】

- 関越（北陸）自動車道・新潟西料金所から約30分。磐越自動車道・新潟中央料金所から約15分
 - 会場には無料駐車場がありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。徒歩15分の所に「西海岸公園」の無料駐車場もあります。
- いずれにしても9:00前後に現地にきて荷物を下ろしていただき、その後近くの駐車場へ車を移動して、10:00までに戻ってきていただく必要があります。

【公共交通機関のご案内】

- バスの場合：新潟駅万代口バスターミナル7or8番線乗り場から
 - 内野営業所行き ● 信楽園病院前行き ● 信濃町経由・西部営業所行き
 - 信濃町経由・西循環線のいずれかに乗車。
 約15分後、「学校町三番町」で下車。徒歩1分。
- 電車の場合：JR越後線「白山駅」（新潟駅から約7分）から徒歩約10分
- タクシーの場合：JR新潟駅から約10分。「中央高校より少し進んだ所にある「天神様（菅原神社）まで」と伝えてください。